

8月12～14日

昼間とは一味違った雰囲気 川湯エコミュージアムセンターが夜間特別開館



笠谷さんによるケーナの演奏

通常は17時閉館の川湯エコミュージアムセンターですが、8月12日～14日の3日間は21時まで特別開館が行われ、昼間とは違った雰囲気に包まれました。

足湯から同センター入り口の道沿いにはペットボトルランタンが置かれ、浴衣姿の川湯温泉宿泊客を誘いました。夜ならではの企画として行われた、真っ暗な川湯の森を探検するナイトウォークでは「エゾシカがいた」「流れ星を見ることができた」と、参加者の皆さんからうれしそうな声が聞かれました。13日は、笠谷俊一さんによる南米の民族楽器・ケーナの演奏会を開催。来館者の皆さんは幻想的な音色を堪能していました。

8月8日

道の駅を気持ちよく利用してほしい 安全連絡協議会の皆さんが清掃活動



手分けして清掃を行う参加者の皆さん

弟子屈道路事務所管内安全連絡協議会(辻谷智之会長)の皆さんが8月8日、道の駅「摩周温泉」周辺の清掃活動を行いました。

同協議会では例年、駐車帯の清掃や交通安全街頭啓発などを行っていましたが、観光客の皆さんに道の駅を気持ちよく利用してほしいと、今年初めて道の駅周辺の清掃を行いました。

活動には26人が参加。数班に分かれて、道の駅の建物の周りや駐車場、歩道などの清掃を行いました。

7月25日

平和の尊さを忘れない 戦没者追悼式で誓いを新たに



戦没者の冥福を祈って献花

弟子屈町戦没者追悼式が7月25日、町社会老人福祉センターで行われ、遺族や関係者など約

70人の参列者が黙とうをささげました。

徳永町長は「戦争について語られることも少なくなり、平和の尊さが忘れられようとしている今日、遺族の皆さまと共に追悼式を挙げることは誠に意義深い」と式辞を述べました。その後、参列者一人一人が献花し、平和への誓いを新たにしました。

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。



企画財政課企画係 ☎482-2913 (課直通)

8月15日

「振り込め詐欺」などに気をつけてください 防犯協会が自主防犯パトロール実施



「振り込め詐欺」に気をつけてと呼びかけ

弟子屈防犯協会(田中富士男会長)の皆さんが8月15日、各金融機関で「振り込め詐欺」防止を呼びかける自主防犯パトロールを行いました。

国民年金の支給日である同日、高齢者の方などが「振り込め詐欺」の被害に遭わないよう啓発を行ったものです。摩周湖農協、釧路信用金庫、北洋銀行、弟子屈郵便局でリーフレットとティッシュを手渡し、注意を呼びかけました。

同協会では、10月15日にも自主防犯パトロールを行う予定です。

8月中旬

夏の人気観光スポット 皆さんの目を楽しませたヒマワリ



散策路が迷路になっている屈斜路のヒマワリ畑

夏の風物詩となっている屈斜路地区と旧弟子屈飛行場跡地のヒマワリが8月中旬に満開となり、下旬までたくさんの方の目を楽しませました。

屈斜路地区は国道243号沿い、屈斜路ウォータースポーツ交流公園向かいの農場約2.8ヘクタールに、約60万本のヒマワリが咲きました。摩周湖農協畑作振興会が、国の中山間事業を活用し、景観緑肥として栽培しているものです。

旧弟子屈飛行場跡地は、約2ヘクタールに約40万本のヒマワリが植えられ、どちらも夏の観光スポットとなっています。

8月1～31日

親子で和やかに手作り体験 川湯エコミュージアムセンターで夏休み特別企画



アイヌ文様の切り絵に挑戦

川湯エコミュージアムセンターで8月1日～31日、夏休み特別企画が行われ、家族連れなどにぎわいました。期間中はさまざまな企画を用意。「自然素材を使ったストラップ作り」は、スタッフに編み方を教わりながらも自分でアレンジして仕上げるので「世界に一つだけのものができた!」と大人気でした。企画展「阿寒国立公園に息づくアイヌプリ」と連動して行われた「アイヌもんよう切り絵体験」は、紙を折って文様を描きハサミで切るだけですが、広げたときには歓声上がるほど。どちらも、親子で仲良く協力しながら挑戦している姿が多く見られました。

7月30日

処理能力がこれまでの2倍以上に 農協の新しいそば乾燥調整施設が完成



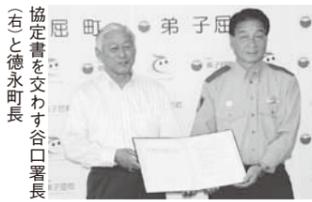
竣工式であいさつをする猪狩広昭(左)と農協関係者

摩周湖農協(山内正夫組合長)の新しいそば乾燥調整施設が跡佐登原野に完成し、7月30日に同施設で竣工式が行われました。式には、農協や摩周そば生産組合、関係者など約100人が出席し、完成を祝いました。

摩周そばは、10戸の生産者が合計約150ヘクタールで栽培。品質の良さから評価が高まっていますが、収穫作業が集中する時期に一括で処理できる施設の整備が課題となっていました。新しい施設の完成により1日に12トン、これまでの2倍以上の量の処理が可能になったほか、適期での収穫や品質の管理が徹底されます。

8月21日

高齢者の安心と安全を守るために協働 町と弟子屈警察署が協定を締結



協定書を交わす谷口署長(右)と徳永町長

町と弟子屈警察署による「弟子屈町在宅老人等給食サービスによる協働事業に関する協定書」手交式が8月21日、役場で行われ、徳永町長と谷口國廣弟子屈警察署長が協定書を交わしました。

町では、弟子屈町社会福祉協議会に委託して、概ね65歳以上の高齢者世帯への給食サービスを行っています。協定内容は「あったかい安心情報」として、弟子屈警察署が給食サービス利用者に防犯や交通安全などに関する情報を、給食サービス事業者が弟子屈警察署に利用者の異変などの情報を提供するというものです。徳永町長は「高齢化率30%を超える本町において、町民の安全を守る有意義な事業」と話していました。

8月18・19日

多彩な催しで地域をにぎやかに 屈斜路コタン夏のイベント2012



たくさんの人でにぎわったイベント

第5回屈斜路コタン夏のイベント2012(同実行委員会(渥美ディートモール実行委員長)主催)が8月18、19の両日、屈斜路地区のはなこや横特設会場で行われました。

数年前に同地区に移住された渥美さんが、地域の活性化につなげたいと、地域の皆さんなどと協力して開催しているものです。世界のワインや新鮮な魚介類、地元の野菜などの販売が行われたほか、ラーメンや豚丼、焼き鳥などの屋台が出店し、多くの皆さんでにぎわいました。

8月2～16日

昔懐かしい露店やアイヌの古式舞踊などでにぎわう 湯のまち川湯源泉まつり



多くの観客が集まったアイヌ古式舞踊

湯のまち川湯源泉まつり(同実行委員会(高田義人実行委員長)主催)が8月2日～16日、川湯の湯の川園地で開催されました。

観光客の皆さんなどに、田舎の夜祭りの雰囲気を味わってもらおうと、毎年行われています。これまでは川湯神社境内で行われていましたが、今年は初めて湯の川園地で開催。足湯を目指してきた観光客などが、射的や綿あめなどの露店に立ち寄り、例年以上のにぎわいを見せました。また、特設ステージで1日2回行われるアイヌ古式舞踊も人気を集めました。

8月2日

家畜ふん尿の臭気低減を検証 スラリー散布機の実演会



散布機について説明を受ける出席者

町家畜ふん尿臭気対策協議会(齊木弥会長)と町酪農振興会連合会(黒野徹会長)主催の、ハンドスプレッド式スラリー散布機実演会が8月2日、川湯地区の牧草地で行われました。

町では2010年、家畜ふん尿の臭気低減を目的に同協議会を設置。今年度からは、川湯地区を臭気抑制早期対策モデル地区として、臭気低減効果のあるハンドスプレッド式スラリー散布機を2台導入し、検証を行っています。

実演会には、両会員や関係者など約20人が出席。同機についての説明を受けた後、実際にスラリー(家畜混合ふん尿)散布の様子を見学しました。